

全国産業資源循環連合会第3次労働災害防止計画に基づく経営者トップ所信表明

当社は、産業廃棄物処理業に携わる企業として、すべての従業員の安全と健康を最優先とし、労働災害ゼロを目指すことをここに宣言します。第3次労働災害防止計画の趣旨を踏まえ、特に産廃業務で多発する**墜落・転落災害、はさまれ・巻き込まれ災害、転倒災害**の防止を重点課題として取り組みます。

- 1. 安全はすべてに優先する最重要事項である。** 作業効率や納期よりも、従業員の安全確保を最優先とし、危険源の除去・低減に全社を挙げて取り組む。
- 2. 墜落・転落災害の防止を徹底する。** 高所作業時の安全带(フルハーネス)使用、足場・作業床の点検、荷台作業時の転落防止措置を確実に実施する。また、重機周辺・コンテナ上部・積込作業など、産廃特有の高所リスクに対して、事前の危険予知と作業手順の遵守を徹底する。
- 3. はさまれ・巻き込まれ災害を根絶する。** バックホウ・フォークリフト・破碎機・圧縮機などの接触リスクを排除し、立入禁止措置と合図・誘導を徹底する。機械作動中の清掃・点検・詰まり取り作業を禁止し、停止・鍵抜き・エネルギー遮断を確実に行う。
- 4. 転倒災害の防止を強化する。** 場内の段差・傾斜・ぬかるみ・散乱物を除去し、通路整備を継続的に行う。荷物の持ち運び時や雨天時の滑り防止対策を徹底し、適切な安全靴の使用を推進する。
- 5. 経営者自らが安全衛生管理に主体的に関与する。** 安全パトロールの実施、リスクアセスメントの承認、重大災害発生時の迅速な対応を経営者責任として遂行する。
- 6. 労働災害の再発防止を徹底する。** ヒヤリハット・不安全行動・不具合情報を積極的に収集し、原因分析と対策を迅速に実施する。
- 7. 教育・訓練を継続的に実施する。** 重機作業、収集運搬、積込作業、分別作業など、産廃業特有のリスクに応じた教育を計画的に実施する。
- 8. 協力会社を含めた安全文化の醸成を図る。** 協力会社・委託先とも連携し、安全ルールの遵守と情報共有を徹底する。

令和8年5月12日

会社名：美興グループ(美興ホールディングス株式会社・株式会社美興・株式会社中部美興・中部砕石株式会社・有限会社広伸実業)

代表者名：北村泰裕・北村陽祐